

DENON[®]

RCD-M40

CD RECEIVER

取扱説明書

- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。詳しくは「保障と修理について」(P.66 ページ)をご覧ください。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

使用上のご注意	5
携帯電話使用時のご注意	5
お手入れについて	5
結露(つゆつき)について	5
換気についてのご注意	5
移動させるときのご注意	5
付属品	6
乾電池の入れかた	7
リモコンの使いかた	7
特長	8
各部の名前	9
フロントパネル	9
ディスプレイ	11
リアパネル	12
リモコン	14

接続のしかた

スピーカーを接続する	18
スピーカーケーブルを接続する	18
サブウーハーを接続する	19
スピーカーを接続する	19
アナログ機器を接続する	20
デジタル機器を接続する	20
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	21
FM/AM アンテナを接続する	23
電源コードの接続	25

再生のしかた

基本操作	27
電源を入れる	27
入力ソースを選ぶ	27
音量を調節する	28
一時的に音を消す(ミュートイング)	28
CDの再生	29
CDの再生	29
好きな順に再生する(プログラム再生)	30
データCDの再生	31
ファイルを再生する	32
FM/AM放送を聴く	33
FM/AM放送を聴く	33
FM放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット)	34
FM/AM放送局をマニュアルでプリセットする	35
プリセットした放送局を聴く	35
本体でプリセットチャンネルの選択やチューニングをおこなうための設定	36

iPodを再生する	37
iPodの音楽を聴く	38
オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)	39
iPod/iPhoneの充電	40
USBメモリーの再生	41
USBメモリーに保存されているファイルを再生する	42
デジタル入力で聴く	43
アナログ入力で聴く	43
便利な機能	44
音質を調節する	45
スリープタイマーを設定する	46
現在の時刻を確認する	46
ディスプレイの明るさを切り替える	47

設定のしかた

メニュー一覧	48
メニューの操作のしかた	49
時計	50
アラーム	50
アラーム オン/オフ	51
CD の自動再生	52
スピーカーの最適化	52
ヘッドホンアンプゲイン	52
オートスタンバイ	53
クロックモード	53

困ったときは

上手な使いかた/こんなときの解決方法	55
故障かな?と思ったら	56
お買い上げ時の設定に戻す	65
保証と修理について	66

付録

データ CD を再生する	68
USB メモリーを再生する	69
ディスクについて	70
ラストファンクションメモリー	72
用語の解説	73
登録商標について	75
主な仕様	76
索引	79

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



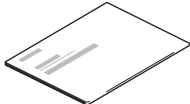
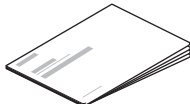


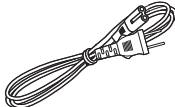
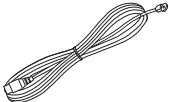

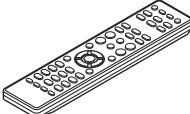

音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

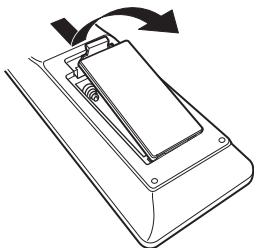
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

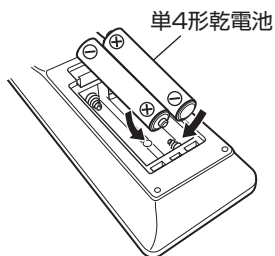
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>保証書</p>	 <p>電源コード 【本機専用】</p>
 <p>FM室内アンテナ</p>	 <p>AMループアンテナ</p>	 <p>リモコン (RC-1204)</p>	 <p>単4形乾電池(2本)</p>	

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



② 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



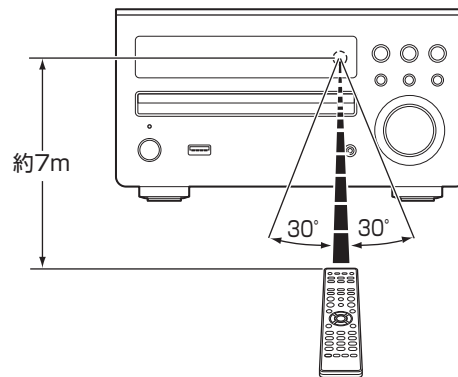
③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

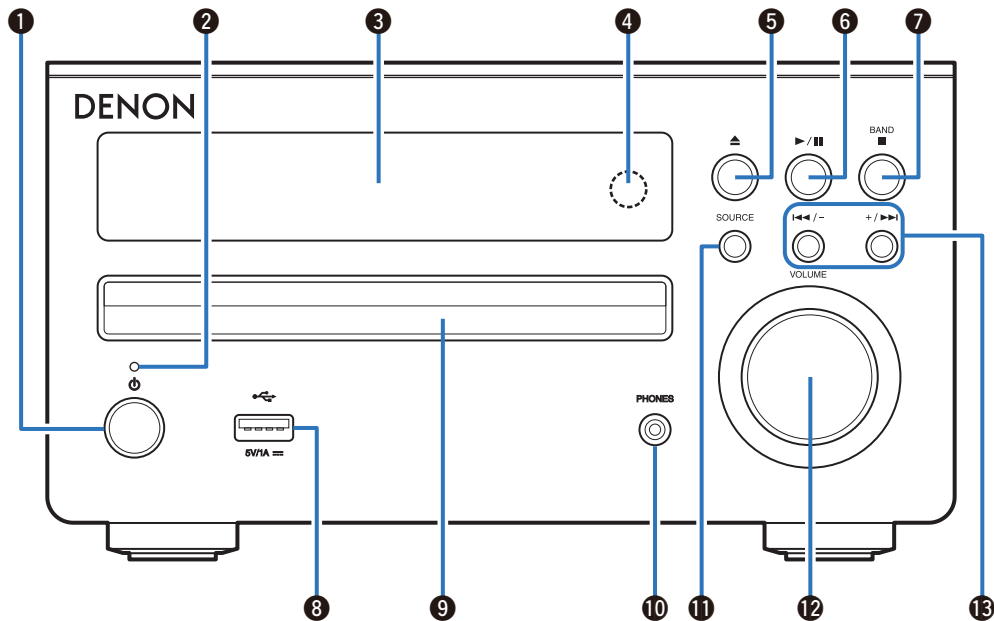
付録

特長

- **高音質を再現する高性能アンプの採用**
30W+30W(6Ω)の高性能パワーアンプ回路を搭載。
- **USB 入力端子から iPod®や iPhone®をダイレクト再生**
付属の USB ケーブルを使って本機の USB 入力端子と iPod を接続すると iPod の音楽データを再生することができます。また接続された iPod を本機のリモコンで操作することもできます。
- **しっかりとした情感豊かな再生**
電源回路の低インピーダンス化のために、回路構成、基板上のレイアウトを一新。安定した電源をパワーアンプや各回路に供給することで 30W+30W もの大出力を実現しました。
- **純度が高く色付けない音を再現するシンプル&ストレート回路構成**
デノンの M シリーズは、Hi-Fi コンポーネントと同様に回路のシンプル&ストレート化を徹底。回路構成の複雑化を避け、信号経路を最短化することにより、純度の高い再生音を実現しています。
- **オートスタンバイモード**
約 15 分間本機の操作をおこなわないと、自動的に本機の電源はスタンバイモードに切り替わります。
- **USB メモリーのいろいろな音声フォーマットの音楽ファイルを再生**
MP3、WMA、FLAC、MPEG-4 AAC のファイル形式で記録された音楽ファイルを再生できます。本機のディスプレイには再生中の曲の曲名とアーティスト名を表示します。(日本語表示には対応していません。)
- **環境にやさしい低待機電力**
スタンバイ時の消費電力は 0.3W と環境に配慮した設計です。
- **リモコン**
本機には、ワイヤレスリモコンが付属しています。ポリウムなど使用頻度の高いボタンを大きくし、押しやすい位置にレイアウトすることにより操作性を高めています。
- **ゲインコントロール機能搭載の高性能ヘッドホンアンプ**
ヘッドホンでも高音質な音楽をお楽しみいただけるように高性能なヘッドホンアンプを搭載しています。また、接続されるヘッドホンの特性に合わせて切り替えられる 3 段階のゲインコントロール機能を備えています。
- **テレビやデジタル機器を接続できる光デジタル音声入力を 2 系統搭載**
テレビやメディアプレーヤーと光デジタルケーブルで接続すると、テレビの音声やさまざまなコンテンツを高音質でお楽しみいただけます。

各部の名前

フロントパネル



目次

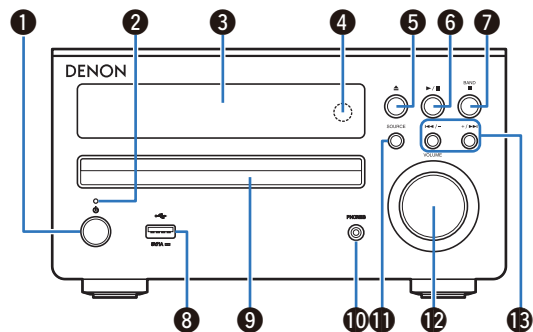
接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録



① 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)に切り替えます。



クロックモードがオンの場合、このボタンで通常モードとクロックモードを切り替えます。(P.53 ページ)

② 電源表示

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時: 緑色
- 通常のスタンバイ時: 消灯
- iPod の充電スタンバイ時: 赤色 (P.40 ページ)
- アラームスタンバイ時: オレンジ色 (P.50 ページ)

③ ディスプレイ

再生状態や設定値などを表示します。

④ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.7 ページ)

⑤ ディスクトレイ開閉ボタン(▲)

ディスクトレイを開閉します。

⑥ プレイ/ポーズボタン(▶/⏸)

⑦ 受信バンド/ストップボタン(BAND ■)

⑧ USB 端子

iPod または USB メモリーを接続します。(P.21 ページ)

⑨ ディスクトレイ

ディスクをセットします。

⑩ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑪ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。

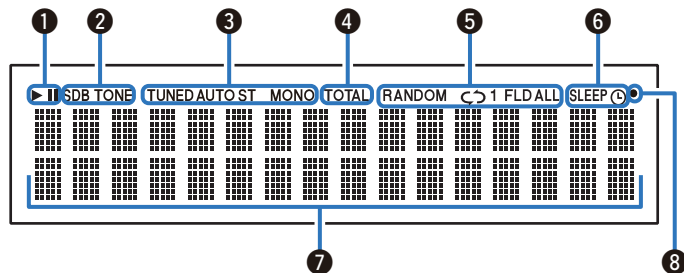
⑫ 音量調節つまみ

音量を調節します。

⑬ スキップボタン

プリセット/選局ボタン(◀◀/-, +/▶▶)

ディスプレイ



① 再生モード表示

- ▶: 再生中に点灯します。
- ||: 一時停止中に点灯します。

② トーン表示

SDB: スーパーダイナミックバス(SDB)機能が“ON”のときに点灯します。

TONE: 音質(BASS/TREBLE)を調節しているときに点灯します。

③ チューナー受信モード表示

④ トータル表示

CDの総曲数や総時間を表示中に点灯します。

⑤ 再生モード表示

⑥ タイマー動作表示

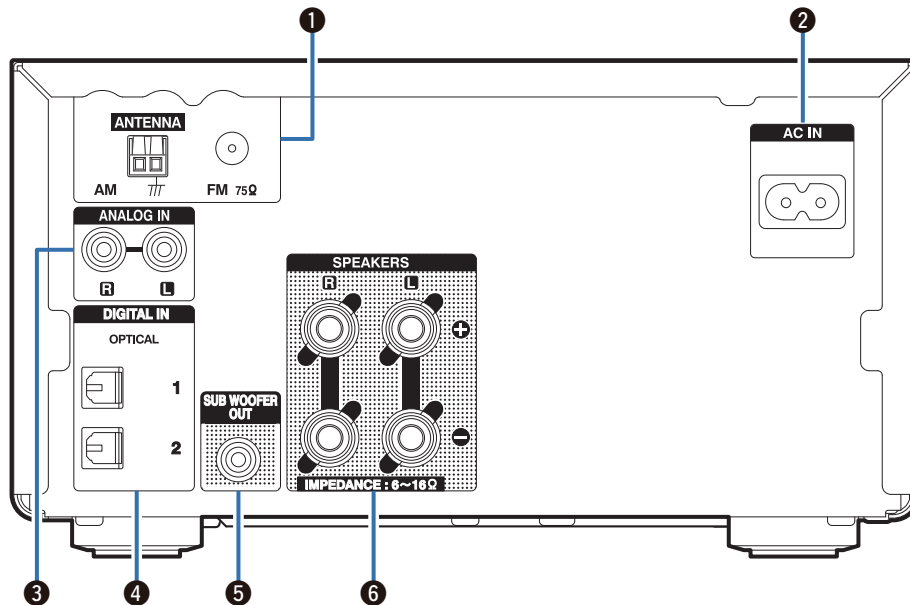
⑦ インフォメーションディスプレイ

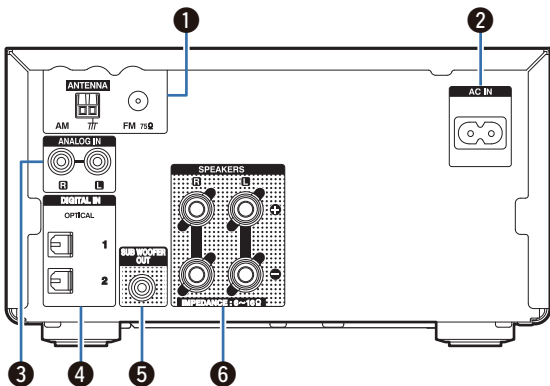
再生状態や設定値などを表示します。

⑧ リモコン信号受信表示

リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

リアパネル





① アンテナ端子 (ANTENNA)

FM アンテナまたは AM ループアンテナを接続します。
([図 23 ページ](#))

② AC インレット (AC IN)

付属の電源コードを接続します。[\(図 25 ページ\)](#)

③ アナログ入力端子 (ANALOG IN)

アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。[\(図 20 ページ\)](#)

④ デジタル入力端子 (DIGITAL IN)

デジタルオーディオ端子付きの機器を接続します。[\(図 20 ページ\)](#)

⑤ サブウーハー端子 (SUBWOOFER OUT)

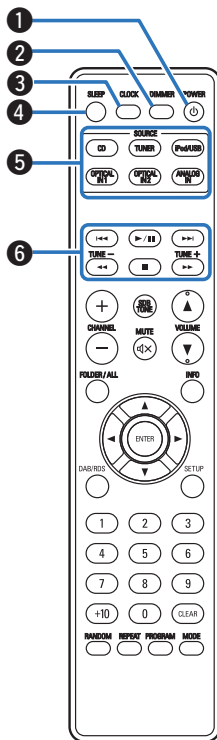
アンプ内蔵のサブウーハーを接続します。[\(図 19 ページ\)](#)

⑥ スピーカー端子 (SPEAKERS)

スピーカーを接続します。[\(図 18 ページ\)](#)

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

リモコン



① 電源操作ボタン(POWER ㊦)

本機の電源をオン/ オフ(スタンバイ)に切り替えます。(参照 27 ページ)

② ディマーボタン(DIMMER)

本機のディスプレイの明るさを調節します。(参照 47 ページ)

③ クロックボタン(CLOCK)

現在時刻を表示します。(参照 46 ページ)

④ スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(参照 46 ページ)

⑤ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(参照 27 ページ)

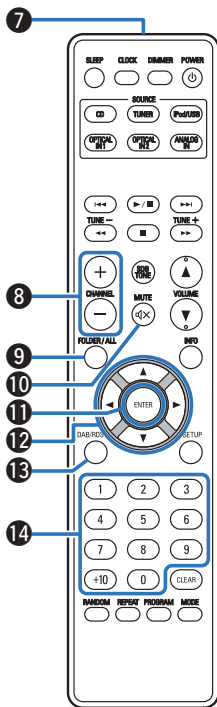
⑥ システムボタン

再生に関する操作をします。

- スキップボタン(⏮️, ⏭️)
- プレイ/ポーズボタン(⏮️, ⏭️)
- 早戻し/早送りボタン(⏮️, ⏭️)
- ストップボタン(■)

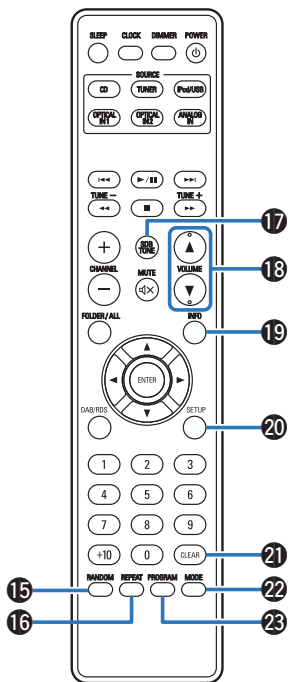
選局ボタン(TUNE +, -)

チューナーを操作します。(参照 33 ページ)



- 7 リモコン信号送信窓
リモコンの信号を送信します。(P.7 ページ)
- 8 チャンネルボタン(+, -)
プリセットした放送局を選択します。
- 9 フォルダ/オールボタン
USB やデータ CD の再生範囲を選択します。
- 10 ミュートボタン(MUTE M)
消音します。(P.28 ページ)
- 11 エンターボタン(ENTER)
選択した内容を確定します。
- 12 カーソルボタン($\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$)
項目を選択します。
- 13 DAB/RDS ボタン
本機ではこのボタンは使用できません。
- 14 数字ボタン(0 ~ 9、+10)
文字や数字の入力をします。

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録



- ⑮ **ランダムボタン(RANDOM)**
ランダム再生を選択します。
- ⑯ **リピートボタン(REPEAT)**
リピート再生を選択します。
- ⑰ **SDB/トーンボタン(SDB/TONE)**
音質を調節します。
- ⑱ **音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)**
音量を調節します。
- ⑲ **インフォメーションボタン(INFO)**
再生時間やアルバム名、タイトル名などを表示します。
- ⑳ **セットアップボタン(SETUP)**
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- ㉑ **クリアボタン(CLEAR)**
設定を取り消します。
- ㉒ **モードボタン(MODE)**
iPod の表示モードを切り替えます。
- ㉓ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム再生をします。

接続のしかた

■ 目次





スピーカーを接続する	18
アナログ機器を接続する	20
デジタル機器を接続する	20
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	21
FM/AM アンテナを接続する	23
電源コードの接続	25

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
光伝送ケーブル	
オーディオケーブル	

スピーカーを接続する

部屋に設置したスピーカーを本機に接続します。
ここでは例として、代表的な接続方法を説明します。

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。「保護回路」(P.74 ページ)
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーはインピーダンスが 6~16Ω のものを使用してください。

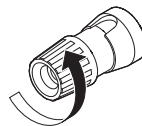
スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+、-をよく確認して、同じ極性を接続してください。

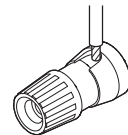
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



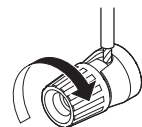
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。

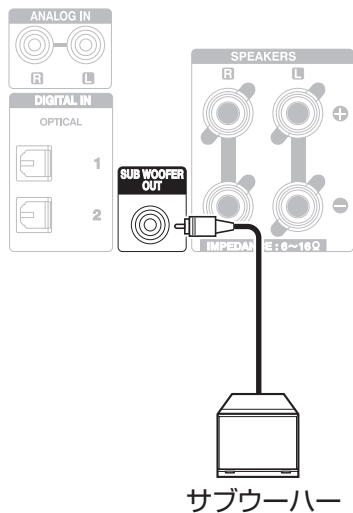


- 4 スピーカー端子を右に回して締める。

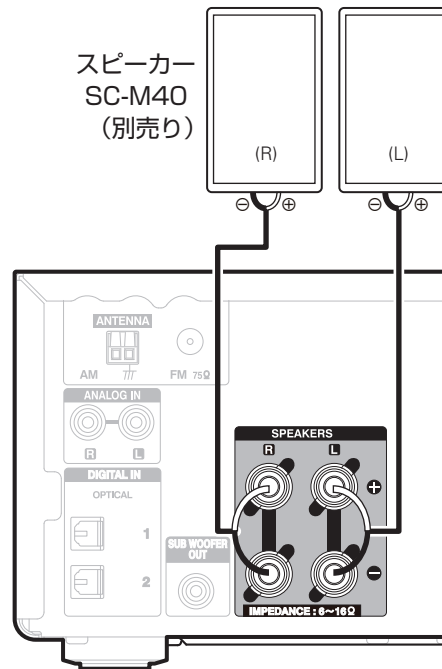


サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。

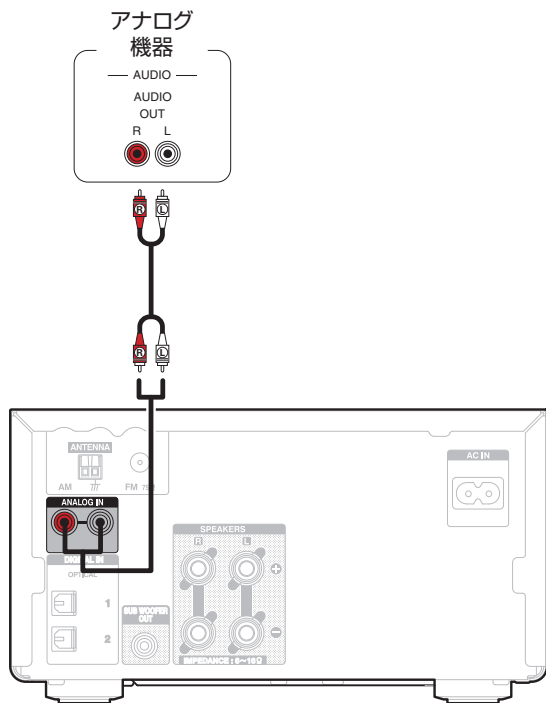


スピーカーを接続する



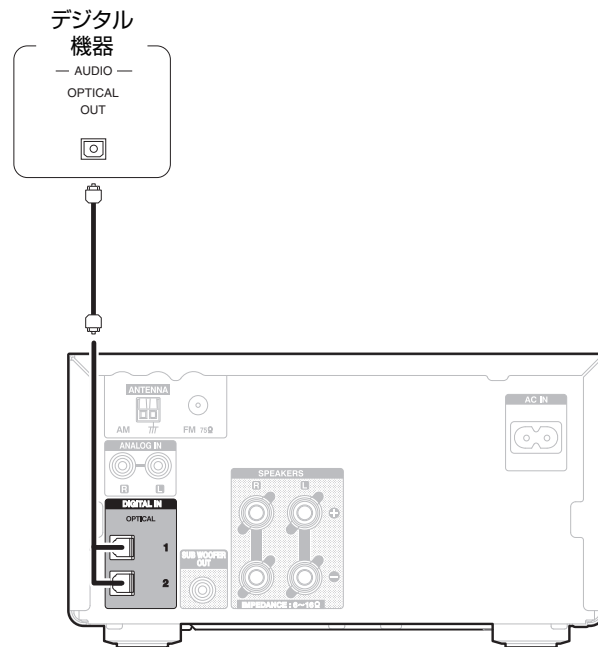
アナログ機器を接続する

アナログ出力端子を持つ機器と接続します。



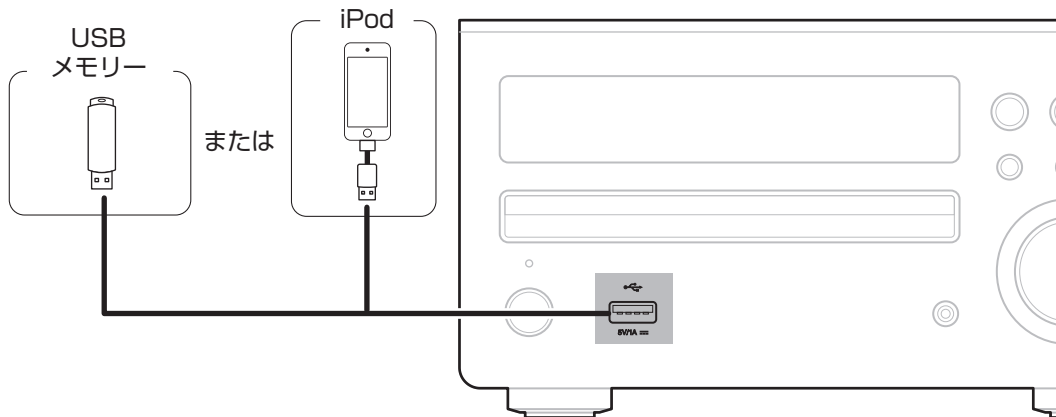
デジタル機器を接続する

デジタル出力端子を持つ機器と接続します (TV 等)。



USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(P.37 ページ)または「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(P.42 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB



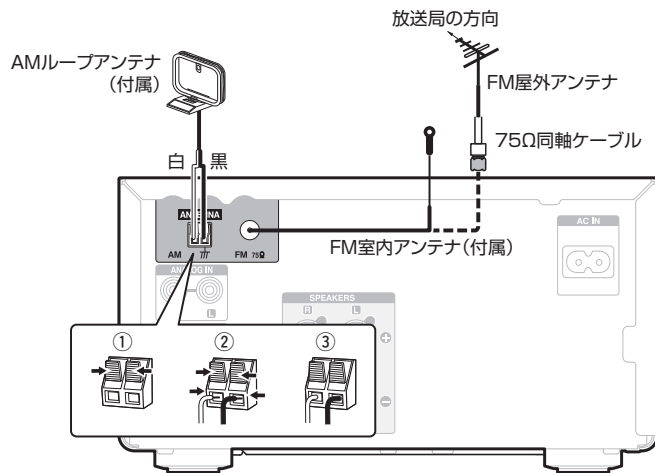
iPhone 6
16GB 64GB 128GB



iPhone 6 Plus
16GB 64GB 128GB

FM/AMアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。「FM/AM 放送を聴く」(P.33 ページ)

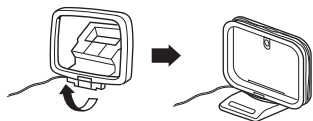
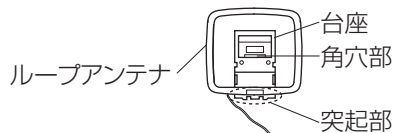


ご注意

- 2つのFMアンテナを同時に接続しないでください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- AM屋外アンテナを接続した場合も、AMループアンテナを外さないでください。
- AMループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AM ループアンテナの組み立てかた

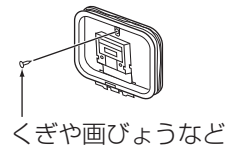
- 1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。
- 2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

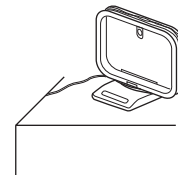
組み立てずにそのままお使いください。



置いて使う

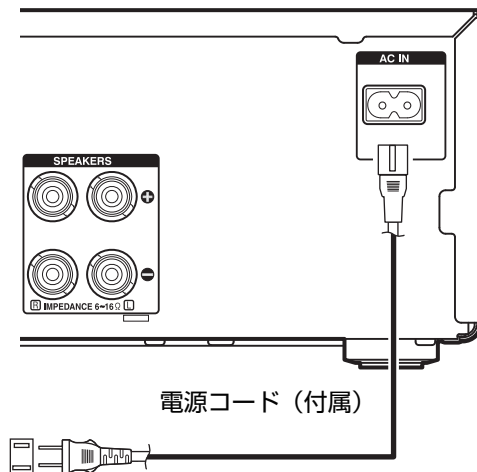
図のように組み立ててお使いください。

組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。



電源コードの接続

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



家庭用の電源コンセントへ
(AC100V、50/60Hz)

再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	27
入力ソースを選ぶ	27
音量を調節する	28
一時的に音を消す(ミュート)	28

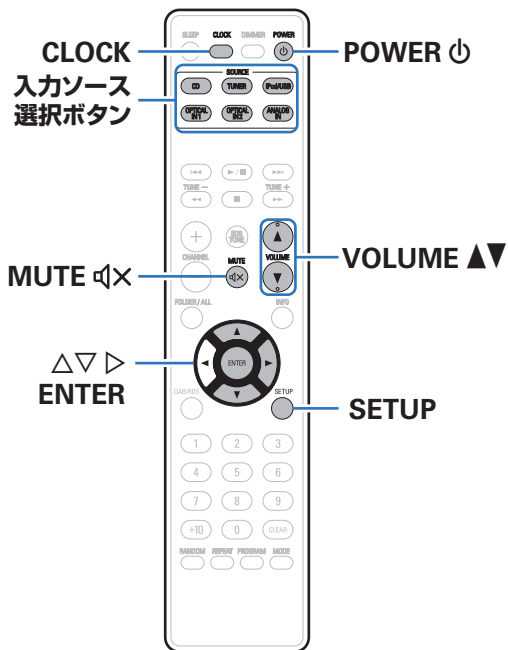
機器を再生する

CD の再生	29
データ CD の再生	31
FM/AM 放送を聴く	33
iPod を再生する	37
USB メモリーの再生	41
デジタル入力で聴く	43
アナログ入力で聴く	43

その他の機能

便利な機能	44
-------	----

基本操作



電源を入れる

1 POWER を押して、電源を入れる。



- 本体の を押しても電源を入れることができます。

入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
入力ソースをダイレクトに選択できます。



- 本体の SOURCE を押しても、入力ソースを選択できます。
- 入力ソースが TUNER のときにもう一度押すと、FM/AM の切り替えをおこないます。

音量を調節する

- 1 VOLUME ▲▼を押して、音量を調節する。
音量レベルを表示します。




- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

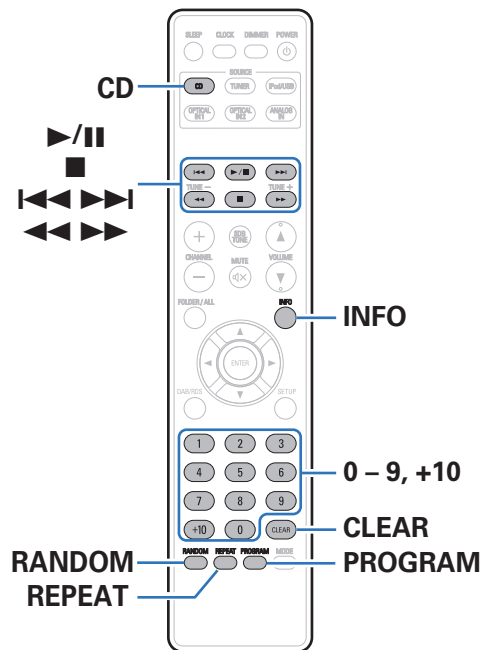
一時的に音を消す(ミュート)

- 1 MUTE を押す。
ディスプレイに“MUTE ON” を表示します。



- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 MUTE を押してください。

CDの再生



CDの再生

- 1 CDを押して、入カソースを“DISC”に切り替える。
- 2 ディスクトレイにディスクを入れる。(P.70 ページ)
再生をはじめます。

- 本体の **▲** を押すと、ディスクトレイは開閉します。



- CDの自動再生をするかしないか設定できます。(P.52 ページ)

ご注意

- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
0~9,+10	ダイレクト選曲
RANDOM	ランダム再生 • 停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	経過時間表示の切り替え

好きな順に再生する(プログラム再生)

1 停止中に PROGRAM を押す。

“PGM” と表示します。

2 0 ~ 9,+10 を押して、トラック番号を入力する。

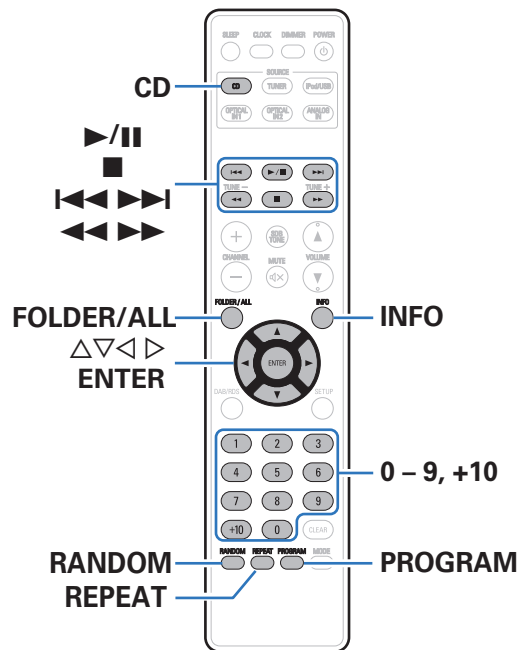
【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムする場合は、PROGRAM、3、+10、2、7 と押す。

3 ▶/|| を押す。



- ディスクトレイを開けたり、電源を切ったりするとプログラムを解除します。
- 停止中に CLEAR を押すと、プログラムした最後の曲を取り消します。
▶▶ を押すと、取り消したい曲を選択できます。
- 停止中に PROGRAM を押すと、プログラムした曲が取り消されます。
- 最大 25 曲までプログラムできます。
- プログラム再生中に RANDOM を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

データCDの再生



- ここでは、CD-R または CD-RW に記録している MP3 と WMA ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 “Microsoft Corporation” の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 CD を押して、入力ソースを“DISC”に切り替える。

2 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。

([P.70](#) ページ)

再生をはじめます。



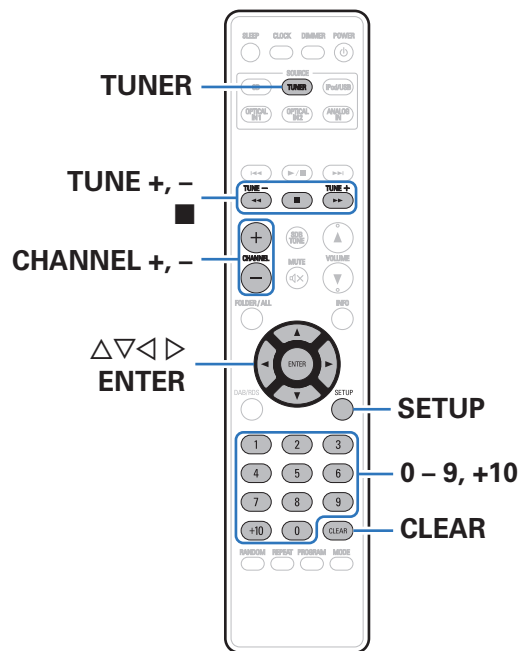
- CD の自動再生をするかしないか設定できます。([P.52](#) ページ)

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
⏮▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
⏪▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
△▽	フォルダの選択
◀▷	ファイルの選択
0~9,+10	ダイレクト選曲
フォルダ/オールボタン	再生モードの切り替え • 選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生するか、ディスク内のすべての曲を再生するかを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生 • 停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
INFO	ファイル名-タイトル/アーティスト名-タイトル/アルバム名の表示を切り替えます。
ENTER	選択項目の決定

■ 再生できるファイルについて

「データ CD を再生する」([P.68](#) ページ)をご覧ください。

FM/AM 放送を聴く



アンテナの接続については、(「FM/AM アンテナを接続する」
([p.23](#) ページ))をご覧ください。

FM/AM 放送を聴く

1 TUNER を押して、受信バンドを選ぶ。

FM AUTO: FM 放送を聴くときに選択します。

電波が弱く、安定したステレオ受信ができないとき
FM MONO: は、“FM MONO” を選び、モノラル受信にしてください。

AM: AM 放送を聴くときに選択します。

- “FM AUTO” を選択すると、“AUTO” が点灯します。
- 受信バンドを“FM AUTO” に設定し、ステレオ放送を受信すると“ST” 表示が点灯します。

2 TUNE + または TUNE - を押して、聴きたい放送局を選ぶ。

受信すると、“TUNED” 表示が点灯します。

- “FM AUTO” に設定していると、自動的に受信できる放送局を探します。
- “FM MONO” に設定していると、ボタンを押すごとに 1 ステップずつ周波数を切り替えます。

FM 放送局を自動的にプリセットする (オートプリセット)

本機は最大 40 局の FM 放送局をプリセット登録できます。

- 1 FM 放送局を受信中に **SETUP** を押す。
- 2 **△▽** を押して “**TUNER SETUP**” を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して “**FM AUTO PRESET**” を選び、**ENTER** を押す。
- 4 “**PRESS ENTER**” の点滅表示中に **ENTER** を押す。
放送局を自動的にプリセットします。



- オートチューニングを停止するときは **■** を押してください。
- アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。
- AM 放送局はオートプリセットできません。

ご注意

オートプリセットをおこなうと、それまでに登録していた FM プリセットの内容を消去して、新しい FM 放送局が登録されます。

■ プリセットしたチャンネルに放送局名を付ける。

- 1 名前を付けたいプリセットチャンネルを受信する。
- 2 **ENTER** を 2 回押す。
ディスプレイが放送局名入力表示になります。
- 3 放送局名を入力する。
最大 8 文字まで入力できます。

△▽ :	文字を選びます。
<▷ :	カーソルを右に移動します。
CLEAR :	選択中の文字を消去します。

- 入力できる文字
[A ~ Z, 0 ~ 9, ^ ' () z + , - . / =(space)]

4 **ENTER** を押す。

文字の入力を確定します。

- 他のプリセットチャンネルに名前を付けるときは、手順 1 ~ 4 をおこなってください。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

本機は最大 40 局の FM/AM 放送局をプリセット登録できます。

- 1 プリセットしたい放送局を受信する。
- 2 ENTER を押す。
未登録プリセットの最小番号表示 “P- -” が点滅します。
- 3 0 - 9, +10 または CHANNEL -, + でプリセットする番号を選び、ENTER を押す。
受信周波数と受信モードをプリセットして、ディスプレイが放送局名入力表示になります。

ご注意

- 登録済みのプリセット番号を選ぶと、“*” を表示します。このプリセット番号にプリセット内容を上書きするときは、ENTER を押してください。

- 4 放送局名を入力する。
最大 8 文字まで入力できます。

△▽:	文字を選びます。
◀▶:	カーソルを右に移動します。
CLEAR:	選択中の文字を消去します。

- 入力できる文字
[A ~ Z, 0 ~ 9, ^ ' () z + , - . / =(space)]

プリセットした放送局を聴く

- 1 0 - 9, +10 または CHANNEL -, + でプリセットする番号を選ぶ。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

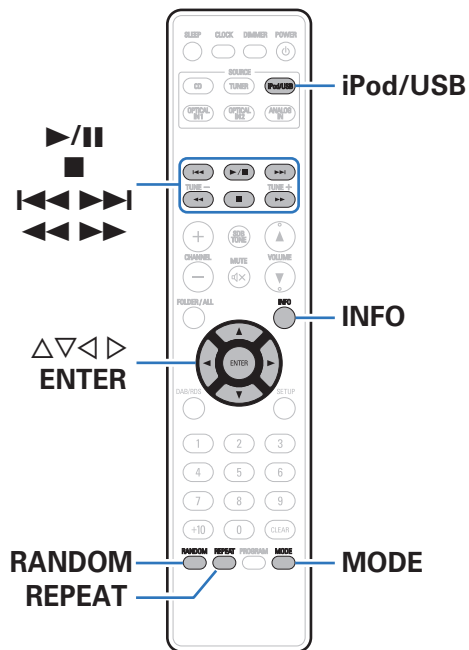
本体でプリセットチャンネルの選択やチューニングをおこなうための設定

本体の **◀◀/-, +/▶▶** ボタンはプリセットチャンネルの切り替えとチューニングの兼用ボタンです。操作の前に次の手順で本機を“プリセットモード”または“チューニングモード”に設定してください。

- 1 **SETUP** を押す。
- 2 **△▽** を押して “**TUNER SETUP**” を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して “**MODE SELECT**” を選び、**ENTER** を押す。
- 4 **△▽** を押して “**PRESET MODE**” または “**TUNING MODE**” を選び、**ENTER** を押す。

プリセットモード	本体の ◀◀ または ▶▶ を押すと、プリセットチャンネルを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">• リモコンの CHANNEL -、+ と同じ動作です。
チューニングモード	本体の ◀◀ または ▶▶ を押すと、受信周波数を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">• リモコンの TUNE -、+ と同じ動作です。

iPod を再生する



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(P.22 ページ)をご覧ください。

iPod の音楽を聴く

1 iPod を本機の USB 端子に接続する。(P21 ページ)

iPod を USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが “iPod/USB” に切り替わります。

2 iPod/USB を押して、入力ソースを “iPod/USB” に切り替える。

本体のディスプレイに “From iPod” を表示します。

3 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。



- iPod の表示モードには、“From iPod” と “On-Display” があります。お買い上げ時の設定は、iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作する “From iPod” です。
- iPod の情報を本機のディスプレイに表示させて操作する “On-Display” に変更したい場合は、「オペレーションモードの設定 (“On-Display” モード)」(P39 ページ)をご覧ください。

ご注意

- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一 iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定(“On-Display”モード)

このモードでは、iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。

ここでは、“On-Display”で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

- 1 MODE を押して、“On-Display”を表示させる。
- 2 $\Delta \nabla$ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

表示モード		From iPod	On-Display
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
$\blacktriangleright/\blacksquare$	再生/一時停止
\blacksquare	停止
$\blacktriangleleft\blacktriangleleft\blacktriangleright\blacktriangleright$	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
$\blacktriangleleft\blacktriangleright$	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
MODE	On-Display と From iPod を切り替えます。
$\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	タイトル名-アーティスト名-アルバム名の表示を切り替えます。

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhone の充電

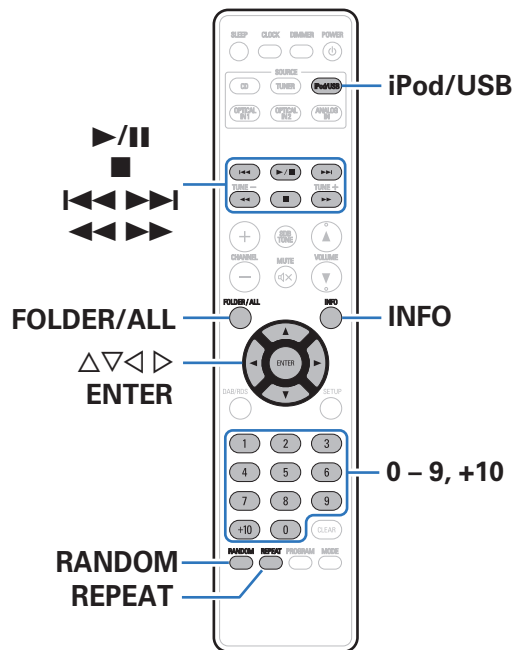
iPod や iPhone を USB 端子に接続すると、充電ができます。

■ スタンバイ充電

iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイ状態に入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod や iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示が赤色に変わります。

iPod や iPhone が完全に充電されると、電源表示が消灯し、通常のスタンバイ状態になります。

USBメモリーの再生



- USBメモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マストストレージクラスおよびMTP(Media Transfer Protocol)に対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、FAT16またはFAT32フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
 - MP3
 - WMA
 - FLAC
 - WAV
 - MPEG-4 AAC





USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。 (21 ページ)

USB メモリーを USB 端子に接続すると、自動的に入力ソースが“iPod/USB”に切り替わります。

2 $\Delta \nabla$ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。


再生をはじめます。

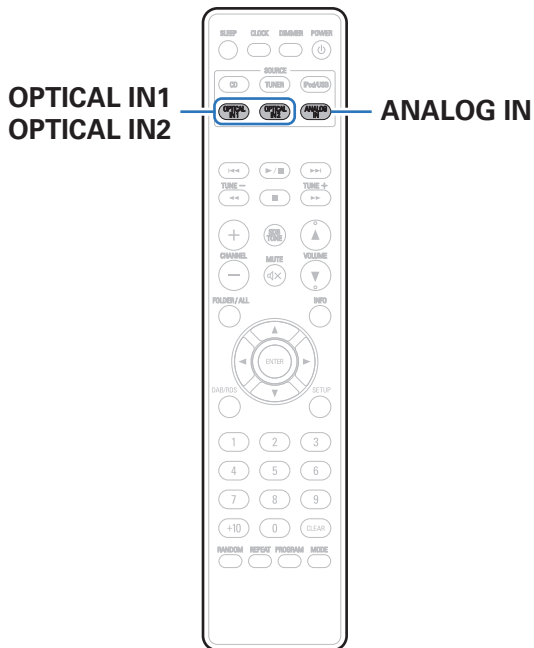
操作ボタン	機能
	再生/一時停止
	停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生 • 停止中に設定できます。
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
$\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイル名-タイトル/アーティスト名-タイトル/アルバム名の表示を切り替えます。 WAV ファイル再生中はファイル名のみ表示されます。

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーを再生する」( 69 ページ)をご覧ください。



デジタル入力で聴く

- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。
- 2 “OPTICAL IN1” または、“OPTICAL IN2” を押して DIGITAL IN を選ぶ。
- 3 本機に接続した機器を再生する。

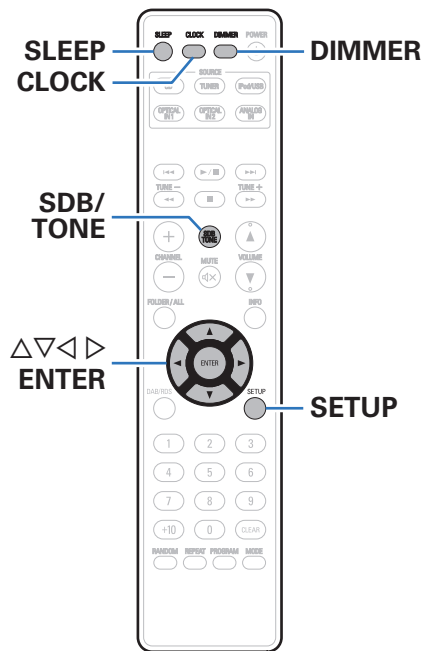


- 本機のデジタル入力端子に入力できるデジタル音声信号は 2 チャンネルリニア PCM のみです。

アナログ入力で聴く

- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。
- 2 ANALOG IN を押して、“ANALOG IN” を選ぶ。
- 3 本機に接続した機器を再生する。

便利な機能



音質を調節する	45
スリープタイマーを設定する	46
現在の時刻を確認する	46
ディスプレイの明るさを切り替える	47

音質を調節する

1 SDB/TONE を押して、調節する項目を選ぶ。

2 <▷> を押して、“SDB”、“BASS”、“TREBLE”、“BALANCE”、“S.DIRECT” を調節する。

□ SDB(Super Dynamic Bass)

音量に応じて、低音域を強調します(最大 +8dB)。

ON / OFF (お買い上げ時の設定: OFF)

□ 低音

低音を調節します。

-10dB~+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

□ 高音

高音を調節します。

-10dB~+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

□ バランス

<▷> を押して、左右の音量バランスを調節します。

□ S.DIRECT(ソースダイレクト)

音質の調節をおこないません。

ON / OFF (お買い上げ時の設定: OFF)

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができ、視聴しながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの“SLEEP”表示が点灯します。
- 10分～90分の範囲で、10分間隔で設定できます。

■ スリープタイマーを解除する

SLEEP を押して“SLEEP OFF”を選ぶ。
ディスプレイの“SLEEP”表示が消灯します。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除しません。
- スリープタイマーが動作するまでの残り時間を確認するときは、SLEEP を押してください。

現在の時刻を確認する

■ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- もう一度 CLOCK を押すと通常の表示に戻ります。

■ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- 現在の時刻を約 10 秒間表示します。

ディスプレイの明るさを切り替える

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります(4段階)。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、輝度を落として一時的に情報を表示します。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

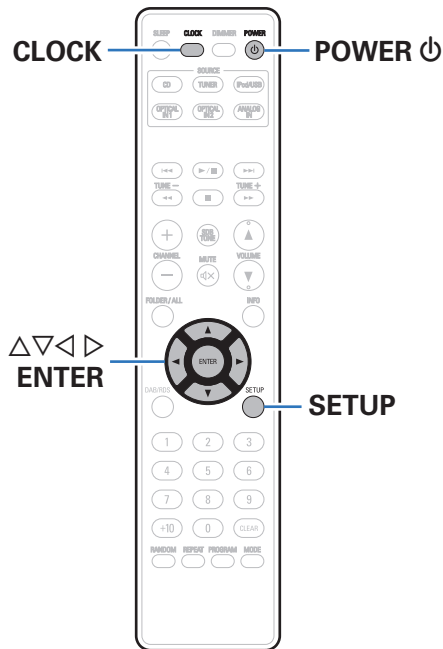
設定のしかた

メニュー一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	説明	関連ページ
時計	現在の時刻を設定します。	50
アラーム	アラーム再生を設定します。	50
アラーム オン/オフ	アラームのオン/オフを設定します。	51
チューナー	TUNER SETUP を選ぶと以下のメニューが表示されます。	-
FM オートプリセット	FM 放送局を自動的にプリセットします。	34
モード切り替え	チューナー操作ボタンに割り当てる機能を選択します。	36
CD の自動再生	ディスク挿入時に自動再生をおこなうか設定します。	52
スピーカーの最適化	当社製スピーカー、SC-M40 に最適な周波数特性の設定をします。	52
ヘッドホンアンプゲイン	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	52
オートスタンバイ	未使用時に自動的にスタンバイにします。	53
クロックモード	時計を常に表示します。	53



メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して設定または操作したいメニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - メニューを終了するときには、メニュー表示中に **SETUP** を押してください。
再生画面に戻ります。

時計

1 $\Delta\nabla$ を押して、“時”を設定する。

2 ENTERを押す。
“分”表示が点滅します。

3 $\Delta\nabla$ を押して、“分”を設定する。

4 ENTERを押す。
現在時刻を確定し、通常の表示に戻ります。

❑ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

CLOCKを押す。
もう一度CLOCKを押すと通常の表示に戻ります。

❑ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

CLOCKを押す。
現在の時刻を約10秒間表示します。



- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

アラーム

① モード切り替え
 $\Delta\nabla$ でアラームモードを選び、ENTERを押す。

ワンスアラーム(ONCE ALARM): 1回のみ、設定した時刻に再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。

エブリディアラーム(EVERYDAY ALARM): 毎日設定した時刻に、再生と終了(電源スタンバイ)をおこないます。

② 入力ソース選択
 $\Delta\nabla$ でソースを選び、ENTERを押す。

DISC / iPod/USB / TUNER / ANALOG IN / OPTICAL IN 1 / OPTICAL IN 2



- “SOURCE SELECT”でTUNERを選んだ場合は、続いてプリセット番号を選びます。
- 選択したプリセット番号に名前が登録していない場合は、プリセット番号を表示したあとに周波数を表示します。

③ 開始時刻
 $\Delta\nabla$ でアラーム開始時刻の“時”を設定し、ENTERを押す。
 $\Delta\nabla$ でアラーム開始時刻の“分”を設定し、ENTERを押す。

④ 終了時刻

△▽でアラーム終了時刻の“時”を設定し、ENTERを押す。

△▽でアラーム終了時刻の“分”を設定し、ENTERを押す。

⑤ アラーム オン/オフ

◀▶でアラームの“ON”または“OFF”を選び、ENTERを押す。



- ④表示が点灯し、アラーム設定が確定します。
- 3秒間、アラーム設定の内容を表示します。

⑥ POWER ❶ を押して、電源をスタンバイにする。

アラームスタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

アラーム オン/オフ

1 △▽で“ONCE”または“EVERYDAY”を選ぶ。

2 ◀▶で“ON”または“OFF”を選び、ENTERを押す。アラーム設定の内容を表示します。

- “OFF”にすると、アラーム動作が無効になりますが、アラームの設定内容はそのまま残ります。

CDの自動再生

CDトレイを閉じたときにディスクを検知し、自動で入力ソースをDISCに切り替えて再生をはじめることができます。

ON
(お買い上げ時の設定): 自動再生します。

OFF: 自動再生しません。

スピーカーの最適化

当社製スピーカーシステム(SC-M40)の特性に合わせた最適化フィルター機能を動作させます。

ON
(お買い上げ時の設定): スピーカーシステム(SC-M40、別売)に最適な特性になります。

OFF: 音声処理をおこないません。

ヘッドホンアンプゲイン

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“LOW”側に、高い場合は“HIGH”側に設定することをおすすめします。

LOW
(お買い上げ時の設定): ヘッドホンの音量が大きい場合に設定します。

MID: ヘッドホンの音量が小さい場合に設定します。

HIGH: ゲイン設定を“MID”にしても、音量が足りない場合に設定します。



- ゲイン設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

オートスタンバイ

入力信号がなく、操作しない状態が約 15 分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になります。

ON : 約 15 分後にスタンバイ状態になります。


OFF
(お買い上げ時の設定): 自動的にスタンバイ状態になりません。



- 入力ソースが“ANALOG IN”の場合は、本機を約 8 時間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。
- 次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。
 - USB 端子に iPod (From iPod モード) を接続しているとき
 - 入力ソースが“TUNER”のとき

クロックモード

時計を常に表示します。

ON : 時刻を表示します。POWER  ボタンを押すと時計表示と通常表示を切り替えます。

OFF
(お買い上げ時の設定): 時刻を表示しません。

ご注意

- クロックモードが ON のときは、電源 ON と同等の電力を消費します。

困ったときは

■ 目次

上手な使いかた/こんなときの解決方法

スタンバイ状態から 1 回の操作で再生したい。	55
iPod や USB メモリーを装着したら、すぐに再生したい。	55
iPod の充電だけをしたい	55
iPod の曲でアラーム再生したい。	55
時計を常に表示したい。	55
ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい。	55

故障かな？と思ったら

電源が入らない/電源が切れる	56
LED が点滅している	56
リモコンで操作ができない	57
本機のディスプレイが表示されない	57
音がまったく出ない	58
希望する音が出ない	59
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	60
ディスクが再生できない	61
iPod が再生できない	62
USB メモリーが再生できない	63
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	64

上手な使いかた/こんなときの解決方法

スタンバイ状態から 1 回の操作で再生したい。

- 入力ソース選択ボタン、▶/■ ボタン、▲ ボタンを押すと、起動と同時に各動作をおこないます。(☞ 29 ページ)

iPod や USB メモリーを装着したら、すぐに再生したい。

- USB 端子に接続すると自動的に入力ソースが切り替わり、再生をはじめます。(☞ 38、41 ページ)

iPod の充電だけをしたい。

- 本機の電源を入れて、iPod を接続してください。その後電源が切れても満充電になるまで iPod の充電をおこないます。(☞ 40 ページ)

iPod の曲でアラーム再生したい。

- iPod touch や iPhone でアラーム再生をおこなうときは、本機の再生モードを From iPod に変更します。そして再生したい曲を一時停止したあとに、iPod touch または iPhone をスリープ状態にしてください。iPod touch または iPhone を電源操作してオフにすると、アラーム再生はできません。(☞ 50 ページ)

時計を常に表示したい。

- クロックモードをオンにすることで、時計を常に表示することができます。(☞ 53 ページ)

ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい。

- H/P AMP GAIN で設定を変えることにより、同じ音量でもヘッドホンの音を大きくすることが可能です。(☞ 52 ページ)

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない/電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	25
電源が自動的に切れる。	• スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。	46
	• AUTO STANDBY が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“AUTO STANDBY” が動作します。“AUTO STANDBY” を無効にするには、メニューの“AUTO STANDBY”を“OFF”に設定してください。	53

■ LED が点滅している

症状	原因 / 対策	関連ページ
赤色に点滅している。(0.25秒間隔で点滅)	• 本機のアンプ回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	—
赤色に点滅している。(0.5秒間隔で点滅)	• 機器内部の温度上昇により、保護回路が動作しました。一度電源をオフにして、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。	74
	• スピーカーケーブルの芯線どうしの接触や、芯線が端子から外れて本機のリアパネルに接触したために、保護回路が動作しました。電源コードを抜き、芯線をしっかりとより直してから接続し直してください。	74

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	7
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	7
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	7
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	—
• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—	

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• リモコンの DIMMER ボタンを押して消灯以外の設定にしてください。	47

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
スピーカーから音が出ない。	• すべての機器の接続を確認してください。	18
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。また、スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。	18
	• 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	27
	• 音量を適切な大きさに調節してください。	28
	• ミューティング(消音)モードを解除してください。	28
	• 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。	43
	• 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。	43
• 本機のデジタル入力端子で再生できるデジタル音声信号は、2チャンネルリニアPCMのみです。	43	
• 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。	9	

■ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
左右の音量バランスが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの SDB/TONE ボタンを押して “バランス” の調節をおこなってください。 	45
サブウーハーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> サブウーハーの接続を確認してください。 サブウーハーの電源を入れてください。 	19 -
“SDB (Super Dynamic Bass)”、“BASS” および “TREBLE” の設定が反映されない。	<ul style="list-style-type: none"> “SDB (Super Dynamic Bass)”、“BASS” および “TREBLE” の設定は、サブウーハー出力には反映されません。 	45

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。	• USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。	—
iPhone で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。	• iPhone を本機から 20cm 以上離して通話してください。	—
FM/AM 放送で雑音が多い。	• アンテナの向きや位置を変えてください。	23
	• 屋外アンテナを使用してください。	23
	• アンテナと他の接続ケーブルを離してください。	23

■ ディスクが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
▶/■ ボタンを押しても再生しない。ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 	70
CD-R/CD-RW が再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 	70
	<ul style="list-style-type: none"> • 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のデータ CD 再生機能は MP3、WMA ファイルのみに対応しています。 	68
“Unsupported” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported” を表示します。 	70
“NO DISC” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC” を表示します。 	70

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。	• USB 端子に iPod を接続して使用する場合、対応していない iPod があります。	22
	• iPod の接続に純正以外の USB ケーブルを使用すると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	—

■ USB メモリーが再生できない

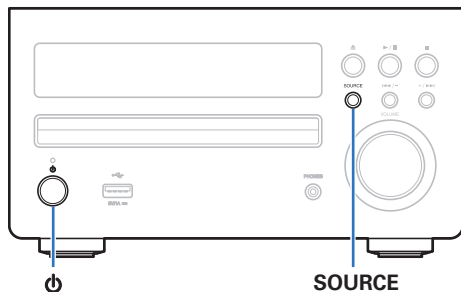
症状	原因 / 対策	関連ページ
“NO DEVICE” と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	21
	• マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。	—
	• 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	—
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	—
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	—
USB メモリー内のファイルを表示しない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	41
	• 本機が表示可能なファイル構成は、フォルダ数が 255 個まで、1 フォルダにファイル数が 255 個までです。	—
	• USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。	—
USB メモリーのファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	41
	• 著作権が保護されたファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	—
	• 非対応フォーマットが再生されました。対応フォーマットを選択してください。	69

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“...”など、正しく表示されない。	• 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。	—

お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



- 1 本機をスタンバイ状態にする。次に SOURCE ボタンを押しながら、電源 ボタンを約 3 秒間押し続けてください。
“INITIALIZE” と表示される。



- “INITIALIZE” が表示されない場合は、もう一度おこなってください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

データ CD を再生する

■ データ CD のフォーマットについて

本機では、次のフォーマットで作成した CD-R または CD-RW を再生できます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

他のフォーマットで記録している場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数 : 255

最大フォルダ数 : 255

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3

WMA (Windows Media Audio)

タグ情報

ID3 タグ (Ver. 1.x と 2.x)

META タグ (タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	64~192kbps	.wma



- ファイルには必ず拡張子 “.MP3” “.WMA” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- Mac の OS X で作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に “.” が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

USB メモリーを再生する

■ 再生できる USB メモリーのフォーマットについて

本機は USB メモリーに保存している次のフォーマットで作成されたファイルを再生できます。

USB 対応ファイルシステム

“FAT16” または “FAT32”

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数: 255 個
最大フォルダ数: 255 個

タグ情報

ID3 タグ (Ver. 2)

META タグ

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48~192kbps *1	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48kHz	—	.wav
MPEG-4 AAC*2	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	32/44.1/48kHz	—	.flac

*1 固定ビットレート (CBR) フォーマットを推奨します。

*2 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。



- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

ディスクについて

■ 本機で使用できるディスク

① 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークが付いているものです。



② CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので、使用しないでください。
- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。



■ ディスクの入れかた

- レーベル面を上に入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイドに合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイドに合わせて、水平に置いてください。
- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて置いてください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC” を表示します。

ご注意

- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

■ ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどのノリがはみ出したり、はがした跡にノリが残っているディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

■ 取り扱いについてのご注意

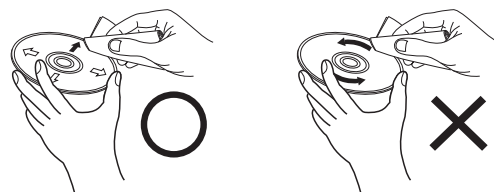
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴が付くことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かさしないでください。

■ 保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

■ ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたはやわらかい布などを使用してください。



内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

用語の解説

■ 音声

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム)という単位で表します。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート(Bit rate)

記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ メディアプレーヤー

Windows Media Player

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。

Windows Media Player のバージョン 11 以降で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、WAV ファイルなどが再生可能です。

■ その他

ファイナライズ

録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademarks of Apple Inc.

- Individual users are permitted to use iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch for private copy and playback of non-copyrighted contents and contents whose copy and playback is permitted by law. Copyright infringement is prohibited by law.



Adobe, Adobe ロゴ, および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

• CD プレーヤー部

再生周波数特性:	2 Hz~20 kHz
ワウ・フラッター:	測定限界(±0.001% W.peak)以下
サンプリング周波数:	44.1kHz

• オーディオ部

実用最大出力:	2チャンネル 30W + 30W(6Ω、1kHz T.H.D 10%、JEITA)
---------	--

■ チューナー部

	[FM]	[AM]
受信周波数帯域:	76.0MHz~95.0MHz	522 kHz~1629 kHz
実用感度:	1.2μV/75Ω	20μV
FM ステレオ分離度:	35 dB(1 kHz)	
FM S/N 比:	モノラル:70dB ステレオ:70dB	
FM 全高調波歪率(1kHz):	モノラル:0.4% ステレオ:0.4%	

■ 時計/アラーム/スリープ

時計方式:	クリスタル発振子(月差 1 ~ 2 分)
アラーム:	ワンスアラーム/エブリデイアラーム:各 1 系統
スリープ:	スリープタイマー:最大 90 分

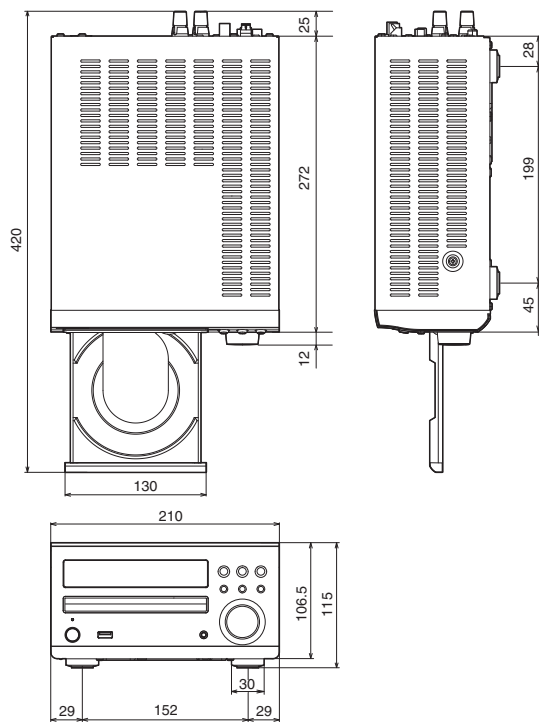
■ 総合

電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	70 W
クロックモード時の消費電力:	14 W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W

- JEITA:(社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

寸法 单位:mm



■ 質量 : 4.0 kg

索引

🔍 C

CD の再生 29

🔍 F

FM/AM アンテナを接続する 23

FM/AM 放送を聴く 33

🔍 I

iPod の再生 37

iPod の充電 40

iPod の接続 21

🔍 U

USB メモリーの再生 41

USB メモリーの接続 21

🔍 あ

アラーム 50

🔍 お

オートスタンバイ 53

お買い上げ時の設定に戻す 65

音質を調節する 45

音量 28

🔍 か

乾電池の入れかた 7

🔍 け

ケーブル 17

🔍 す

スリープタイマー 46

🔍 た

対応している iPod/iPhone 22

🔍 て

ディスプレイの明るさ 47

データ CD の再生 31

電源コードの接続 25

電源を入れる 27

🔍 に

入カソースを選ぶ 27

🔍 ぶ

付属品 6

フロントパネル 9

🔍 み

ミュートイング 28

目

メニュー一覧 48

ら

ランダム再生 42

り

リアパネル 12

リピート再生 42

リモコン 14








当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112


FAX : 044 (544) 3171

- 受付時間 9:30～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  03 (3570) 5138
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQ (よくあるご質問と回答) をご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 112

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
 - 上記番号がご利用いただけない場合  03 (3570) 5138
 - 故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先 (サービスセンター) については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>
 - 修理品お持ち込み窓口
 - ・ 首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2010-16
FAX : 0466 (86) 9522
 - ・ 関西サービスセンター
〒573-0094 大阪府枚方市南中振3-2-7 三井倉庫ロジスティクスC棟3F
FAX : 072 (802) 3226
- * ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Vietnam 5411 11262 10AD

Copyright ©2015 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.